

第11回 ICTを活用した歩行者の 移動支援に関する勉強会

毎日新聞社デジタルメディア局

ユニバーサロン編集長

岩下 恭士

「支援技術」と呼ばれる最初から障害者用に特別に開発された福祉機器はシンプルで使いやすい反面、一般市場から見るときわめて高価だったり、街中の量販店など手軽に購入できない、機能拡張性に乏しい、デザインが貧弱、アップデートなどのアフターケアがない、といった欠点がある。私は、iPadやiPhoneなどのアップル端末に標準搭載されているスクリーンリーダーVoiceOver(ボイスオーバー)の応用を中心に、職場や家庭など周囲の晴眼者と同じ環境で視覚障害者が利用できる汎用技術を活用しながら、ユニバーサルで経済的(フリー)なデジタルライフを実現する方法を提案したい。

APP Storeで入手可能な関連アプリ

<GPSナビ>

- Ariadne GPS
- iMove
- BlindSquare
- Vcompas
- 全力案内
- GoogleEarth
- GoogleMap

APP Storeで入手可能な関連アプリ

<バーコード・タグリーダー>

- VoiceEye
- TapTapSee
- VoiceVision
- Light Detector
- Iconit

APP Storeで入手可能な関連アプリ

<読み上げ対応高機能Androidスマートフォン>

ドコモが今年10月4日に発売したAndroid4.2搭載富士通製スマートフォン「らくらくスマートフォンプレミアム(F-09E)」はインターネットやワンセグTV放送、おサイフケータイなどのすべての操作を音声化している上に、らくらくスマートフォン初のGoogle Play対応端末である。つまり、(無償)公開されている読み上げと相性のよい位置情報アプリなどを自由にダウンロードして使えるということである。今後、Android向けにUDを意識した音声ナビなどの開発で全盲者の移動支援が大きく前進することが期待される。